

小竹だより

練馬区立小竹小学校 校長 佐藤 正文



令和2年 1月号
No. 547

自分らしく生きる

校長 佐藤 正文



【6年 職業体験】

新年、明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。開校60周年を迎える小竹小学校。本年もどうぞよろしくお願いたします。

『一年の計は元旦にあり』ということわざは、もともとは中国で編纂された「月令広義」という、年間行事や儀式等についての解説書の中の「四計」に由来し、「四計」とは「一日の計は晨（あした＝朝）にあり。一年の計は春（正月）にあり。一生の計は勤にあり。一家の計は身にあり。」とあります。これを分かりやすく表すと「一日は朝のあり方で決まり、一年は年のはじめの決意で決まる。人生はまじめに勤めることで決まり、一家の将来は身の振り方（生き方）で決まる。」となるそうです。つまり「はじめに目標や計画を掲げること、そしてコツコツ努力することが大切」とあるということです。

私は、このことわざから、自分にできそうなことを、小さなことでも具体的に目標を決めて前向きに取り組む習慣を身に付けていくという、日々の積み重ねが大切であるのだと改めて学ぶことができました。

ある記事に掲載されていたお話ですが、「チューリップを育てるのにヒマワリの花を咲かせようと努力してもチューリップの花が咲きますし、ヒマワリを育てるのにチューリップの花を咲かせようと思ってもヒマワリの花が咲きます。

（略）人は、誰でも世界でただ一人の貴い存在です。一人一人その人ならではの良さをもっています。その良さを発揮することが、ほんとうの自分、自分らしい自分を発揮することではないでしょうか。」とありました。自分探しは一生の旅、今年どんな出会いがあるか楽しみです。

ぜひ、ご家庭におかれましては、子供たちの目標に耳を傾け、努力している姿を認め、励まし、達成できたときには、共に喜び、賞賛していただきたいと願っています。

本年度も残り3か月。3学期は、子供たちにとって、進級、進学に向けての意識が大きくなる学期です。一人一人の子供たちが、自分らしく成長していき、世界でただ一人の存在として、もっている力を発揮していくことができるように教職員一同子供たちを育てていきます。

地域の皆様、ご家庭の皆様、昨年同様、温かいご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。